

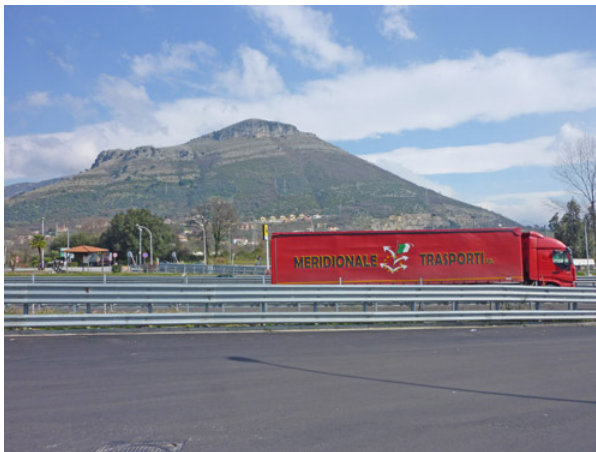
5144 ^{くらーく}久楽の世界の旅：イタリア南部・心模様

1枚の画像から、どう感じるかは、人それぞれ。

画像を残すことで、イタリア南部の一部が、想像していただければ幸い。

現地に在住する人も多いだろう。マスコミ始め、昨今、ドローンなどの便利な手段もある。

^{くらーく}久楽流は、地上移動の実感心象。なぜ、記録したのか、わからないものも含まれる。



日常の大切さや社会の営み。「駕籠に乗る人、担ぐ人、そのまた草履を作る人」

という言葉がある。世の中には、階級・職業が、さまざまあって、

同じ人間でありながら、その境遇に差があることの**たとえ**。

また、そのさまざまな人が、うまく、社会を構成していることの**たとえ**。

久楽は、**後者の意味**、人と人との社会のつながり。

世界の旅に一人、旅だったのは、**世界の人や、社会を知るため**。当初、画像記録は、副産物。

何しろ、スタートが遅かった、それでも、30年続いた。**人生が激変**。

